

# 規制改革推進会議 農林ワーキング・グループ資料

2019年4月1日

株式会社GRA

岩佐大輝



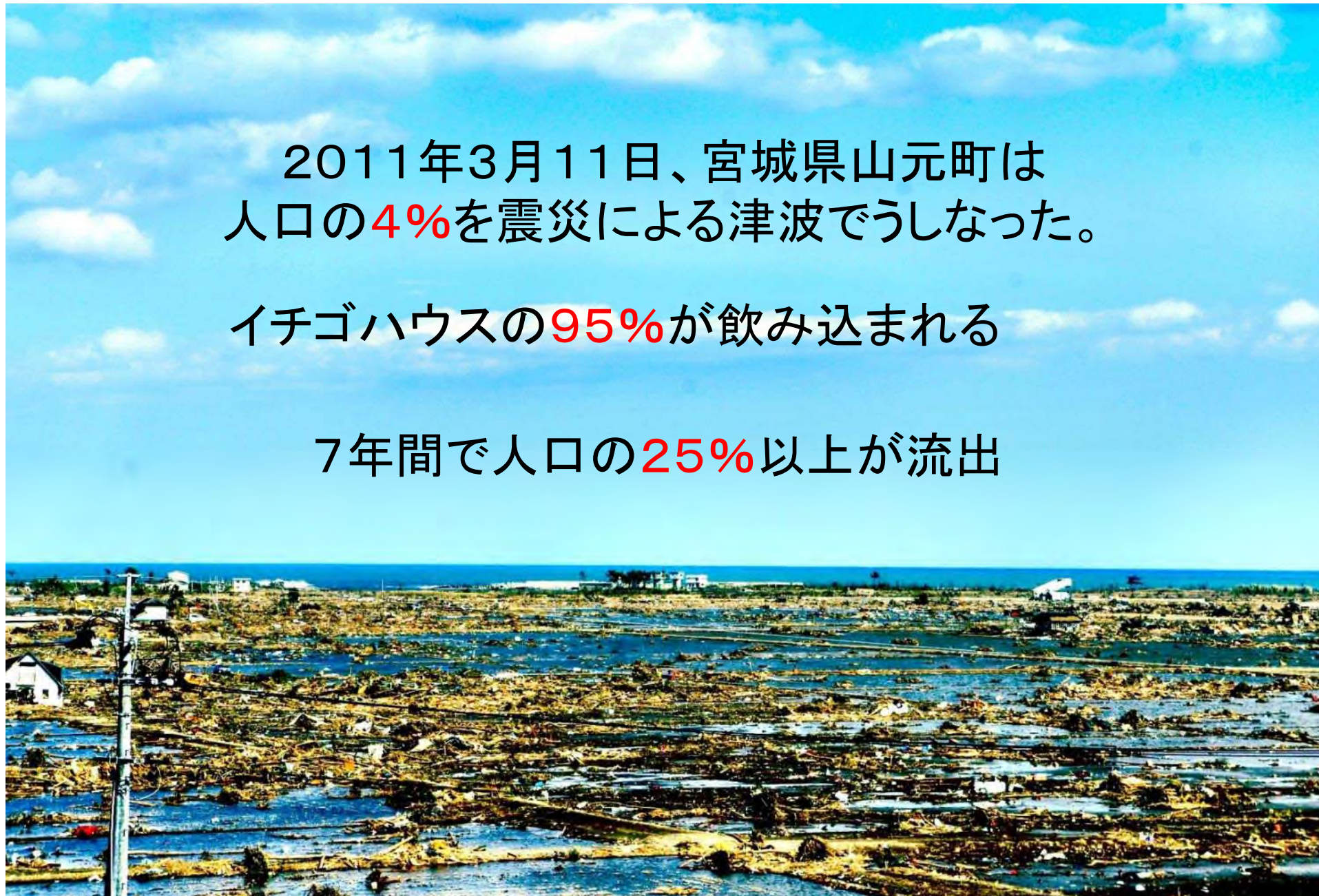
ミガキイチゴ

# 会社概要

2011年3月11日、宮城県山元町は  
人口の**4%**を震災による津波でうしなった。

イチゴハウスの**95%**が飲み込まれる

7年間で人口の**25%**以上が流出



# GRAの概要

- 会社名 株式会社GRA
- 所在地 宮城県亘理郡山元町山寺字桜堤48
- 代表者 岩佐 大輝(いわさ ひろき)
- 創業 2011年7月
- 設立 2012年1月
- 資本および資本剰余金 409,374,128円
- 事業内容 農産物の生産販売および輸出、加工商品開発販売および輸出、農業技術の研究開発、産地ブランド開発、新規農業者の就農支援事業、海外生産展開
- 関連会社 株式会社いいね(100%子会社、カフェ部門)
- 株主 岩佐大輝、橋元洋平(副社長)、産業革新機構、日本電気、JA三井リース、社員等

# GRAの沿革(1)

- 2011

3月東日本大震災発生

4月被災地ボランティア「GRA ツアー」をスタート

9月山元町牛橋地区に初めてのイチゴハウス建設

- 2012

1月農業生産法人 株式会社GRA設立

6月先端プロ山元研究施設(GRA山寺農場)完成

9月GRA稲実先端農場完成

11月インドマハラシュトラEEC農場完成

- 2013

1月「ミガキイチゴ」ブランドを発表

2月GRA桜堤先端農場完成

3月インドでミガキイチゴの販売スタート

10月グッドデザイン賞の受賞

12月「ミガキイチゴ・ムスー」発売



# GRAの沿革(2)

2014

2月ジャパンベンチャーアワード 東日本大震災復興大賞、香港でミガキイチゴの販売をスタート

3月GRAアグリプラットフォーム設立

9月台湾工業技術研究院と共同研究事業をスタート

2015

1月「ミガキイチゴ・カネット」発売

3月GRAアグリプラットフォームに対して産業革新機構、NEC、JA三井リースによる総額4.45億円の出資

6月ICHIGO WORLDオープン(通年栽培ハウス)

12月台湾、シンガポールへの輸出スタート

2016

2月H27年度食材王国みやぎ ブランド化部門グランプリ

3月タイ、マレーシアへの輸出開始

7月イチゴアカデミー1期生研修スタート



実技研修の映像を用いたグループワーク



# GRAの沿革(3)

- 2016

9月新規就農者トレーニングハウス第1期工事完了

11月インドテランガーナ州・ハイデラバードで新規就農事業開始

- 2017

3月第1回農業IoTアワード グランプリ受賞

4月東の食のブランド・アワード(グランプリ受賞)

7月新規就農研修生向け寮(ミガキ寮)オープン

9月K&Kハウスオープン、新規就農者トレーニングハウス第2期工事完了

10月GRA、GRAアグリプラットフォームの会社合併

- 2018

5月 株式会社いいねの株式を100%取得、カフェ事業スタート





# 経営メンバー(1)



**岩佐 大輝** (いわさひろき)

代表取締役CEO

1977年宮城県亘理郡山元町生まれ。24歳でITベンチャーを起業。東日本大震災後に先端施設園芸を軸にした地域活性化を目的とするGRAを創設。趣味はサーフィン。



**橋元 洋平** (はしもとようへい)

取締役副社長兼執行役員

1977年宮城県亘理郡山元町生まれ。山元町社会福祉協議会で福祉事業に10年以上従事。東日本大震災後に岩佐とGRAを立ち上げる。行政・地域渉外担当。趣味は競馬・カジノへ貯金。



**橋元 忠嗣** (はしもとただつぐ)

最高栽培顧問

宮城県亘理郡山元町生まれ、イチゴ作り40年のベテラン。東日本大震災ですべてのイチゴハウスと居宅を失う。山元町のイチゴ産地復興を志し、震災直後に岩佐とGRAを立ち上げる。好物は缶コーヒー。



**福島 雅史** (ふくしままさし)

取締役兼執行役員 新規就農事業責任者

東日本大震災時のボランティアをきっかけにNPO法人GRAに関わる。2014年に農業生産法人GRAに参画。GRAでは営業部門および新規就農支援部門を統括する。経営学修士MBA。趣味はサーフィン。